

管理型最終処分場ってどんな施設なの？

主な処分場には、「安定型処分場」と「管理型処分場」があります。

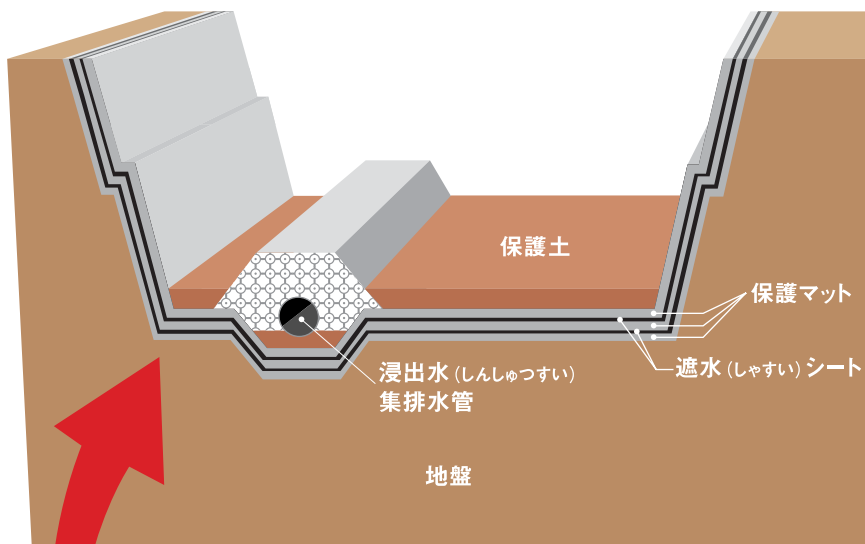
大きな違いは、「管理型処分場」では、

埋め立てられたごみに触れて汚れた水（「浸出水（しんしゅつすい）」といいます）を環境を汚さないよう、しっかりと管理していることです。

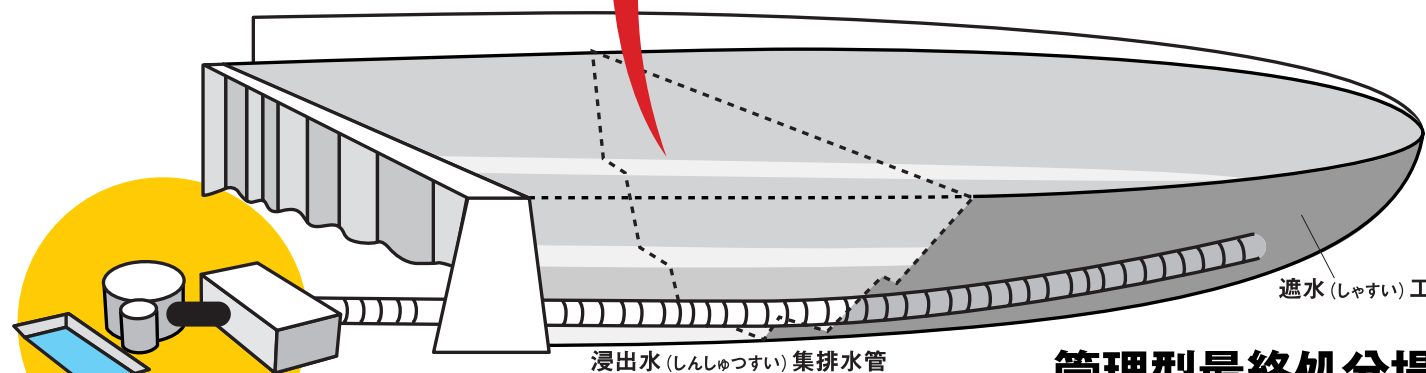
しゃすいこう 遮水工

汚れた水が外に漏れ出さないように埋立地全体を包んでいるのが「遮水工（しゃすいこう）」です。埋立地を断面に切ってみると、右のような形になっています。遮水（しゃすい）シートは、耐久性のあるゴムのような素材でできており、汚れた水が外に漏れ出さないようになっています。このシートは安全のため2枚敷かれていて、万が一、上の1枚が破れても2枚目で水を止めてくれるため、その間に破れた箇所を修復できます。また、1枚目のシートからの漏水を検知することにより、破れていないか監視する機能もあります。

保護土や保護マットがシートの上にかぶせられているのは、埋め立てるときに誤ってシートを傷つけないよう守るためです。



しゃすいこう
遮水工断面図



管理型最終処分場

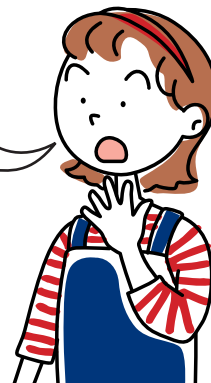
しんしゅつすい 浸出水処理設備

ごみに触れて汚れた水は、集排水管を通して「浸出水（しんしゅつすい）処理設備」に集められます。

ここで、微生物や活性炭などを使い、汚れた水をきれいに浄化します。

いろいろな検査をして、水が本当にきれいになっているかどうか確認します。

汚れた水が
外に出ないように、
いろいろな工夫が
あるのね！



（平成13年10月発行）

- 発行——栃木県 生活環境部 環境整備課
〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20 TEL.028-623-3227 FAX.028-623-3113
- 問合せ先——栃木県 生活環境部 環境整備課 TEL.028-623-3227
馬頭町 環境整備対策室 TEL.0287-92-1112



グリーン・ライフ Green Life ばとう

快適で安全な暮らしのために

vol. 4

今回のテーマ

環境アセスメントと 適地性の判断



環境を
保全していくのは
大切なことよね。





処分場として

適地かどうか

どのように調べるの



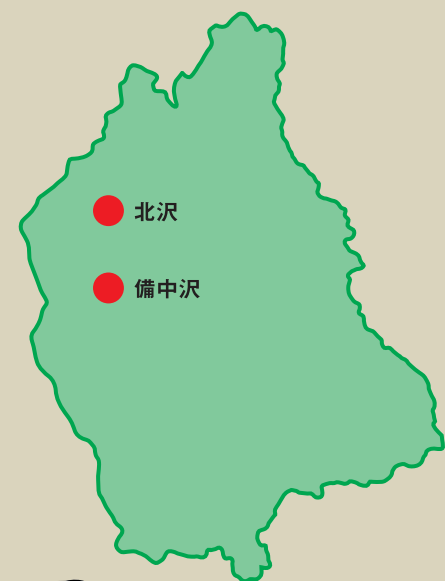
環境アセスメントを行います。

まずは、候補地の自然環境（動物、植物、地形・地質など）や生活環境（大気、水質、騒音・振動など）、景観などの現況を調べて、環境への影響をいろいろな視点から検討することが必要です。その上で、候補地が処分場として適地かどうか判断していきます。

北沢の不法投棄物は、含まれる汚染物質の状況から、管理型の最終処分場*にきちんと埋め立てる必要があります。

それにはまず、処分場の候補地として挙げられた備中沢が、処分場として適地かどうか調べなければなりません。

*裏面参照



【地質調査】

どんな地形や地質なのか、また活断層などがあるのか調べます。



【動物・植物調査】

どんな動物がいて、どんな植物が生育しているのか調べます。

いろいろなことを調べないと
いけないのね！



【騒音・振動調査】

騒音や振動の大きさを測ります。

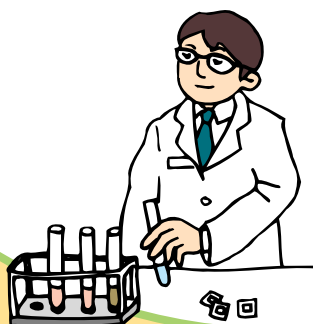


まず、現況を調べる ことから！



【水質調査】

川や池から水を採って、どんな成分なのか検査します。



【景観調査】

風景を写真に撮って、季節ごとにどうなっているのか調べます。

みなさんの疑問に
お答えします！



Q1

現況調査では、
わたしたちの意見は
聞いてくれないの？

答え： 調査に入る前には調査項目や方法についてご説明し、皆さんから地域の環境に関する貴重なご意見などを聞いて、調査計画を決めていきます。

Q2

現況調査といっても
季節によっても
変わるんじゃないの？

答え： 動物や植物の生育状況、景観などは季節によって様子はまったく違ってきます。このようなものは、四季を通じて調査をしていきます。

Q3

調査が終わったら、
すぐに工事が
始まってしまうの？

答え： 調査の結果を地元の皆さんにお知らせして、皆さんや専門家のご意見を聞いて、処分場として適地かどうか判断していきます。

現況調査は
工事の着工とは
違うのね！

